

平成  
18年度

# 「女性の創業等支援助成金」 対象事業の報告

全国商工会女性部連合会が展開する「女性の創業等支援助成金」制度は、平成十四年度のスタート以来、地域活性化につながる事業や先進性にあふれた事業を助成し、女性による創業、女性経営者の経営革新に大きく寄与しています。

十八年度に助成対象になった事業の活動状況と、助成が決定した十九年度分の事業概要を紹介します。

## 商工会女性部部門

### 岩手県千厩商工会女性部 「せんまや逸品運動」



商店街の空間は、お客様にとつて親しみ、楽しさ、必要性があるところの観点に立って「一店逸品運動」に

取り組み、岩手県連南部広域センターの協力を得て『せんまや逸品カタログ』を発行、十八年には空き店舗を活用した「逸品フェア」を開催している。

専門講師による講習会・臨店指導によって指摘された事項を共通認識し、互いに改善している。参加メンバーを増やすなど「一店逸品運動」の輪を広げて、顧客に喜ばれる「店・商店街づくり」を目指している。

### 石川県野々市町商工会女性部 「草木染販路開拓事業」



女性部有志が町の特産品として絹のスカーフ、ショールなどの草木染を行ない、全国物産展で販売したり展示したりするなど、地元に加え近隣

地域へも草木染事業を積極的に広報・周知し、事業拡大と販売の促進を図っている。町内外の人を対象に「草木染体験会」も開催した。

野々市町のほか白山市や金沢市南部地区まで、草木染事業の周知を図り、展示・即売会の企画内容を見直すとともに総合的な広報活動を推進し、地域特産品としての認知度を高めて今後の販路開拓につなげていく。

### 徳島県東祖谷商工会女性部 「観光振興事業」



過疎化が進む中、観光客来村で活性化しようとして、女性部にて、平成元年からアジサイ街道づくりを始めた。アジサイの開花時

期、秋の紅葉時期には大勢の観光客が訪れ、その数は年々増加している。紅葉時期には延べ二〇日間、国道沿いで観光客を対象に特産品の販売、「女流語り部」として平家伝説の案内をし、好評を得ている。

日本の三大秘境の一つに数えられる粗谷地方だが、冬は豪雪地で観光客も少ないため、三シーズンを通じて観光客が来るよう、千本桜の植樹にも力を入れるほか、体験型の観光客も見込んでいく。

### 高知県四万十市西土佐商工会女性部 「特産品『四万十葉っぱ寿司』の製造販売」



平成二十一年開業予定の道の駅で販売する「四万十葉っぱ寿司（仮称）」の製造販売に取り組んでいる。米、柚子、鮎、川エビ、鰻など地域食材の調達及びレシピや保存・輸送手段の研究、イベントへの出品、PR活動と商品定着を図り、将来的には、道の駅、空港、鉄道などを中心にも首都圏、関西、東海地区への販路拡大を目指す。四万十川特産品としての商品定着に努

め、地域雇用の場を創出する。四万十西土佐押し寿司の会仮称を結成、十九年秋の全国イベントへの出展を目標に鋭意推進中。

個人・グループ部門

静岡県松崎町商工会女性部所属

青森千枝美

「手作り工房ゆめのはな」



地域の人の手芸品を地域振興に役立てたいとの声を受けて、自らの技術や経験を生かせる工房店舗として「ゆ

めのはな」の開設を決意。地域の高齢者が手づくりした手芸・工芸品を展示販売している。

地域の中高齢者が生きがいを持ち、ものづくりを通じて自分の小さな夢や技術を実現する「私の一番・定番・オンリーワン」のお店で、商店街の空き店舗を活用し、「ものづくり介護」がコンセプト。

観光客、地域の客が増加、手芸工芸品づくりのシンボリック空間として存在感を強める。店舗に面する街路に人通りが増えた。

滋賀県甲良町商工会女性部所属

まめな生活自然派女性ねっと

「大豆製品製造販売」

地産地消を目標に大豆加工品の店「おまめのころろ」を開店。手作り豆腐をはじめ、大豆を使用した総菜、おからを活用したお菓子を製造販売している。

店舗は週二日、一日三時間開けている。商品は、安心安全をモットーに当日加工したもののみ販売。助成金で油圧式圧搾機、こし袋を購入。煮上がった豆をこし袋に入れて絞る作業は労力を要するが、

平成十九年度助成対象事業

商工会女性部部門

埼玉県皆野町商工会女性部

「環境配慮・柿の町事業」

ハウスシック症候群を防ぐなど優れた性質を持ち、応用範囲の広い天然素材である柿渋を活用した柿渋染め製品・グッズの製作と販売を実施、環境重視の地域性と柿の町をアピールする。

来町者に柿もぎ、柿渋グッズ製作体験を指導し、思い出づくりのできる観光も提供する。



油圧式圧搾機の購入で作業の効率化が図れ、製造量も多くなった。できる限り効率的な生産体制をつくり、今

後は、週二日の営業日をさらに増やし、売上増を図る考え。

徳島県美馬町商工会女性部

「特産品開発事業」

美馬の青とうがらしを使った薬味「みまから」を特産品として育てようと開発中。激辛ブームの中で消費者ニーズは高く、ビジネスチャンスは大きい。「はっさく」を利用したとうがらし入りジャムなど、二次産品の商品化にも取り組む。

個人・グループ部門

秋田県由利本荘市商工会女性部所属

布施隆子

「特製こけしで国体選手をおもてなし」平成十九年度開催の「秋田わか杉国体」に向けた「杉材」特製こけしを製品化。全国からの国体参加者に対して、女性部員が真心込めて絵付けをしたこけしを提供し、もてなすことで、地域の魅力をPRして観光客が「また来たいまち」としての確立を目指す。(20頁参照)

東京都小平商工会女性部所属

渡辺千鶴子

「街を元気にする、デザインサポーター事業『ラ・ラ・ラこだら』」

小平市内の個人商店、小規模事業などを対象に高品質・低価格なオリジナル広告制作を外部スタッフとしてサポートし、地域事業に貢献していく。スキルアップを目指す女性向けに講習会を実施したり、専門能力を持つ女性を活用する人材スキルと街のニーズのマッチング事業。

福岡県筑穂町商工会女性部所属

茜屋代表 大山真理子

「だしを取った後の昆布を再利用した新商品の企画販売」

辛子明太子製造時に発生するだしを取った後の昆布成分を生かした商品を開発、販売。粉末にして利用するもので、昆布石鹸を試作中。パック剤や化粧品・入浴剤の開発も検討。ゴミの減少・環境保護など現代社会の要請にも応えられる。